



NFA新型コロナウイルス感染予防ガイドライン

初 版： 2020年10月15日
第2版： 2020年10月22日
第3版： 2020年10月26日
第4版： 2020年11月 5日
第5版： 2020年11月13日
第6版： 2021年 2月 5日
第7版： 2021年 4月 5日
第8版： 2021年 7月29日

1) 基本方針	… P. 2
2) チケットिंग	… P. 3
3) スタジアムのゾーニング	… P. 4
4) 会場運営	… P. 5
5) 中継制作・送信、メディア対応	… P.11
6) チーム・審判	… P.12
7) 観客、ファン、サポーター	… P.14
8) その他	

【別添 1】

新型コロナウイルスの感染拡大防止のための来場及び観戦に関するルール

【本ガイドラインの目的】

- ・ 感染を最大限防ぎながら、公式戦を開催する
- ・ その際、感染リスクを下げるために関係者が遵守すべき基準を示す
- ・ 感染が生じてしまった場合の適切な処置について示す
- ・ リーグ及び加盟チームは本ガイドラインの遵守、ならびに公式ホームページ等に公表するなど、感染対策を広く訴求する

【本ガイドラインの運用について】

- ・ 開催地となる自治体と事前協議、連携を行うものとする
- ・ 環境や政府方針の変化に伴い、運用に変更を要する場合は速やかに対応するものとする
- ・ リーグ及び加盟チームが感染防止のために特に重要な事項を認識できるようガイドラインのチェックリストを作成することとする。

2) チケットینگ

1. 周囲との間隔は一席程度空ける。
2. 上限人数は、政府方針に従い、決定する。
3. チケット販売は下記のとおりとする。
 - ・ 試合毎チケットとする
 - ・ 前売券、当日券とチーム券（スポンサー企業対応、ファンクラブ対応）とする
 - ・ 一般販売は、前売券と当日券（Xリーグチケット、会場）とする

3) スタジアムのゾーニング

1. 目的

- ① ゾーン分けしておくことで、感染者が出た場合の影響範囲を限定する。
- ② 特に選手、チームスタッフと接触する人数を最少化する。

2. 4つのゾーンに分け、互いの接触を避ける動線管理を行う。

- ① ゾーン1：競技関連
- ② ゾーン2：応援、チア
- ③ ゾーン3：運営、メディア関連
- ④ 観客

3. ゾーンごとの来場人数には制限は設けないが、ゾーン1への来場者は最小限になるようにする。

4. ゾーン1へのアクセスを遠慮いただく方々

- ・ NFA未登録者

5. NFAはゾーン1・2・3への来場者をリスト化し管理する。

1. 会場運営における重点事項

- ・ 休憩時間や待合場所等の密集回避
- ・ 密集が回避できない場合は、そのキャパシティに応じた人数制限を行う
- ・ 導線の確保

2. 会場運営に伴う業務執行について

- ・ 業務に支障とならない範囲でテレワーク等遠隔業務を行う
- ・ 会議を要する場合は、オンラインを推奨とする

3. 来場者全員に求められること

- ① 無理な来場は勇気をもって見合わせる。
 - ・ 体調不良の場合
 - ・ 同居家族や同僚などの身近な関係者に感染が疑われる方がいる場合
 - ・ 過去14日以内に、政府が入国制限、入国後の観察期間を必要とする国や地域に渡航又は当該者と濃厚接触がある場合
- ② 握手、抱擁などは行わない。
- ③ 社会的距離（最低1メートル、できれば2メートル）を確保する。
- ④ プレイ中の選手などを除き、マスクを着用する。
- ⑤ 手洗い、手指消毒をこまめに行う。

4. 衛生管理者の設置

NFAは試合開催時に試合毎に衛生管理に関する責任者を設置し、プロトコルが実行されているかを確認し、来場者に改善を要求、指示する。

5. スタジアムの衛生管理

- ① 使用するすべての部屋に消毒液を設置する。
- ② 手洗い場（トイレを含む）には、石鹼（ポンプ型が望ましい）を用意する。
- ③ 更衣室は、遡って48時間以内に利用があった場合には、消毒後に使用する。
- ④ 各諸室のドアは可能な範囲で開けたままにする。
- ⑤ 各諸室のこまめな消毒を実施する。
- ⑥ 空調設備の適切な運転、定期的に窓を開け外気を取り入れる等のこまめな換気を行い、乾燥する場面では湿度40%以上を目安にした加湿に努めること
- ⑦ 施設共用部（出入口、トイレ、手すり等、ウイルスが付着した可能性のある場所）のこまめな消毒を行う。
- ⑧ 休憩スペースを一度に利用する人数の制限や、できるだけ1m以上の間隔を空けて座れるよう配置を工夫し、利用前後の手洗い、対面での食事や会話の自粛を促し、共有する物品の定期的な消毒を行う。
- ⑨ トイレに共通のタオルの設置は行わない。

6. スタジアムへの入退場の管理（関係者）

① すべての入口で入退場チェックを行う。

・ 検温

37.5℃以上の発熱、または発熱症状の自覚が認められる場合は入場を断る

② すべての入口に手指消毒液を設置する。

※ 有症状を理由に入場できない場合、払戻は行わないことを周知することとする

7. スタジアムへの入退場の管理（観客、ファン、サポーター）

① 待機列が「密」にならないよう、間隔を空ける、またはおしゃべりを控えるなどの呼びかけや足元にマークを施す等の工夫をする。

② 入場時に検温を実施し、37.5℃以上の発熱、または発熱症状、せきなどの呼吸器症状、強い倦怠感、味覚の異常等の自覚が認められる場合は入場をお断りする。

③ お客様への配布物がある場合、不特定多数の方が触れないよう管理し、定期的に手指消毒した運営もしくはチーム関係者のみが配布する。

8. ゾーン毎の動線管理

- ① ゾーン毎の動線を設定し、人と人との接触を限定する。
- ② 特に選手、コーチとその他の方の接触を最小限に留めるために、ゾーン1の動線の独立性に留意する。
- ③ 混雑時は、身体的距離を確保した誘導を行う。

9. 場内／場外売店

- ① アルコールを除く飲食およびグッズの販売は容認される。
- ② 販売員は、大声を避け、マスク・手袋・フェイスガード等を適切に着用する。
- ③ 待機列が「密」にならないように足元にマークを施すなど工夫する。
- ④ 人と人が対面する場所ではアクリル板や透明ビニールカーテンを使用する。
- ⑤ 事前予約の受付や電子マネー等非接触決済の導入を推奨とし、現金を取り扱う際はコイントレーを使用する。
- ⑥ 店員と購入者が対面する場合、三密の回避、換気の徹底、身体的距離の確保、マスク着用に留意する。
- ⑦ 飲食は、個々に提供され、定められたエリアでのみ容認される。
- ⑧ 休憩時間中及びイベント前後においても、食事等による感染防止のためマスクの着用や手指消毒等を徹底し、違反者に対しては個別に注意する。

10. 場内／場外イベント

選手と観客が直接接触するイベント（お見送りなど）は実施しない。

11. スポンサーブース、チームブース

- ① 係員は、マスク・手袋を着用する。
- ② 待機列が最小限になるよう配慮し、「密」にならないように足元にマークを施すなど工夫する。
- ④ 人と人が対面する場所ではアクリル板や透明ビニールカーテンを使用する。
- ⑤ 電子マネー等非接触決済の導入を推奨とし、現金を取り扱う際はコイントレーを使用する。
- ⑥ スタッフと来場者が対面する場合、三密の回避、換気の徹底、身体的距離の確保、マスク着用に留意する。

12. 喫煙所

喫煙所は設置しない。

13. ゴミの処理について

- ・ ゴミ箱は所定の位置に設置を行う
- ・ 鼻水、唾液などがついたゴミは、ビニール袋に入れて密閉して縛る
- ・ ゴミを回収するスタッフは、マスクや手袋を着用する
- ・ マスクや手袋を脱いだ後は、必ず石鹸と流水で手洗いを行う

14. 来場者（観客、ファン、サポーター）への感染予防対策の呼びかけ 場内掲示物や場内アナウンスを用い、以下の内容について周知を行う。

- ① マスク着用
 - ② 飲食等のマスク未着用時の会話の抑制、咳エチケットの徹底
 - ③ 大声での会話の抑制（マスクの着用を前提とした隣接者との日常会話程度は可）
- ※必要に応じ、①～③は個別に注意喚起すること

15. 観客の退場時

3密が発生しないよう、時間差退場などスタジアムの状況に応じた混雑解決策を講じる。

1. 来場者全員に求められること

- ① 無理な来場は勇気をもって見合わせる。
 - ・ 体調不良の場合
 - ・ 同居家族や同僚などの身近な関係者に感染が疑われる方がいる場合
 - ・ 過去14日以内に、政府が入国制限、入国後の観察期間を必要とする国や地域に渡航又は当該者と濃厚接触がある場合。
 - ② 握手、抱擁などは行わない。
 - ③ 社会的距離（最低1メートル、できれば2メートル）を確保する。
 - ④ マスクを着用する。
 - ⑤ 手洗い、手指消毒をこまめに行う。
- ※上記内容を遵守いただけない場合は個別に注意を行うこととする。

2. 必須事項

- ① すべてのメディアを事前申請必須とする。
- ② 受付時に検温を行い、37.5℃以上の発熱、または発熱症状の自覚が認められる場合は、スタジアムでの取材活動をお断りする。
- ③ 取材活動は、会場ごとに定める取材可能エリア内に限定する。
- ④ 密が発生しやすいロッカールームや通路など屋内施設内での取材は基本的に禁止する。

1. 試合当日は、スタジアムへの移動出発前に各自体温を測定する。
 - ① 37.5℃以上の発熱、または発熱症状の自覚が認められる者がいた場合には、次のように処置する。
 - ・スタジアムに来場させない
 - ・タクシーなどで自宅またはホテルに送り出す
 - ・チーム責任者、コロナ対策担当者へ報告する
 - ・新型コロナウイルス感染症の疑いがある場合には、チームドクターに相談の上、処置する
2. 更衣室
 - ① できるだけ多くのスペースを更衣室として準備する。
 - ② 更衣室の滞在時間をできるだけ減らす。
 - ③ 更衣室内ではマスクを着用する。
 - ④ タオルやボトルなどを共用しない。
 - ⑤ シャワーは、間隔を空けたり、時差を設けるなどの濃厚接触を避けるための工夫を講じる。

3. 選手間の感染リスクへの対応

- ① ヘルメットにシールドを装着するなど、選手同士での感染を防ぐ対応を講じる。
- ② ユニフォームや衣服のこまめな洗濯を行う。
- ③ ミーティングを実施する場合は、三密の回避、換気の徹底、身体的距離の確保、マスク着用に留意する、

1. 事前の案内

- ① 無理な来場は、勇気をもって見合わせてください。
- ② 入場時に検温をおこない、37.5℃以上の発熱、または発熱症状の自覚が認められる場合は入場できませんので、予めご了承下さい。
- ③ スタジアムではマスクを着用してください。熱中症対策でマスクを外す場合は、屋外で少なくとも2メートル以上の対人距離を確保してください。
- ④ スタジアムでのマスクの配布はございません。マスクを着用いただけない場合、入場をお断りする場合がございます。
- ⑤ 手洗い、手指消毒をこまめに行ってください。
- ⑥ スタジアムの内外を問わず、交通機関や帰宅途中の飲食店等においても社会的距離を確保し、大声での発声や密集などの感染リスクのある行動を回避してください。

※上記内容を遵守いただけない場合は個別に注意を行うこととする

2. 来場ファン向けの運営について

① 接触確認アプリの推奨

「新型コロナウイルス接触確認アプリCOCOA」や各自治体が推奨するアプリのインストールを来場者に向けて告知し、入口付近に該当のチラシ、ポスターを掲出。なお、携帯電話の使用を控える場面では、接触確認アプリ（COCOA）を機能させるため、「電源及びBluetoothをonにした上で、マナーモードにすること」を推奨。

② 入場制限

新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、下記いずれかに該当する方の入場をご遠慮いただくよう入り口付近に掲出。

- ・ 2週間以内に海外渡航歴のある方
- ・ 新型コロナウイルスに感染され、医療機関や保健所から療養終了の判断が出ていない方
- ・ 濃厚接触者と判断されて2週間以内の方
- ・ 下記いずれかの症状がある方
 - a. 37.5度以上の発熱がある場合
 - b. 咳、喉の痛み、倦怠感などの風邪症状がある場合
 - c. 味覚や嗅覚の異常がある場合

2. 来場ファン向けの運営について

③ 座席位置の記録

- ・ 一般来場者に向けた、座席番号の記録の徹底を呼びかけ
- ・ 指定席：チケット保管を促す
- ・ 自由席：着席位置のメモ、写真撮影を促す

④ 来場者の把握

事前予約制、あるいは入場時に連絡先を把握する。

⑤ 体調不良者が発生した場合の対応

- ・ 観戦後にPCR検査で陽性が確認された場合の内、当該観戦日が発症48時間前以降にあたる場合は、本人から即座に連絡が入るよう、周知
- ・ 当該感染者が観戦した「試合日」「対戦カード」「着座位置」をNFAホームページにて公開、注意喚起の実施

3. 応援スタイルについて

① 容認される行為は以下のとおり。

- ・ 横断幕掲出
- ・ 手拍子

② 禁止される行為は以下のとおり。

- ・ 大声での応援（メガホンを使用した声を出しての応援を含む）
- ・ 指笛やラッパ等の鳴り物の使用
- ・ ハイタッチ、肩を組むなど身体が直接接触する行為
- ・ 手持ちのアイテムを振り回しての使用
- ・ 観客を覆う形でのビッグフラッグの使用
- ・ 自席、定められたエリア以外での飲食

※ 上記内容を遵守いただけない場合は個別に注意を行い、途中退場を求めることがある。

1. 「感染リスクが高まる『5つの場面』」に注意する

感染リスクが高まる「5つの場面」

場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事に比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることもある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。



- 日本スポーツ協会「スポーツ活動再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」
(<https://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/jspo/guideline.pdf>)
- 日本スポーツ協会「スポーツイベント開催・実施時の感染防止策チェックリスト」
(https://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/jspo/guideline_checklist.pdf)
- NPB新型コロナウイルス感染予防ガイドライン
(https://npb.jp/npb/20200919_guideline_for_2020season_games.pdf)
- Jリーグ新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン
(https://www.jleague.jp/img/pdf/2020_1006_1.pdf)
- B.LEAGUE新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン
(https://www.bleague.jp/files/user/common/pdf/Guideline_covid19_measures.pdf)
- NPB・Jリーグ新型コロナウイルス対策連絡会議
- 厚労省 新型コロナウイルス感染症について
(https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html)
- 外務省 海外安全ホームページ
(<https://www.anzen.mofa.go.jp/>)
- 内閣官房 新型コロナウイルス感染症対策 ホームページ
(<https://corona.go.jp/proposal/>)